

ヒューマン・コミュニケーション I

科目到達目標: 基本的マナーの習得, 他者理解による共感に基づいた対人関係の理解, オンライン授業による未来型共同学習の実践

科目責任者: 角南 なおみ(医学教育学)

連絡先: 医学教育総合センター: 0859-38-6438

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1・2	4/9(木)	1・2		○課題1: 相手を意識した自己紹介を考える, 自身の関心のある書籍を理由とともに紹介する	角南 なおみ	医学教育学	○自身の考えを持ち, 他者に表出する ○他者視点に立った説明を行う ○他者と関係性を形成する手がかりを作る	○自己表出 ○他者視点
3・4	4/16(木)	1・2		○課題2: 最近関心のあるテーマを根拠を明確にしたうえで説明する	角南 なおみ	医学教育学	○自身の考えを持ち, 他者に表出する ○他者視点に立った説明を行う ○他者と関係性を形成する手がかりを作る	○自己表出 ○他者視点
5・6	4/23(木)	1・2	111	○授業の目的を理解する ○自己表出と聴き方を意識する ○未来型共同学習を検討する ○コミュニケーションの実践(関係性の形成) ○グループディスカッションにより考えを深める	角南 なおみ	医学教育学	○これまでの授業の流れを理解する ○今年度の新たな目標を理解し検討する ○自身の考えを持ち, 他者に表出する ○他者と関係性を形成する ○グループディスカッションを通して協同の在り方を学ぶ	○授業概要の理解 ○未来型共同学習 ○自己理解と他者理解 ○関係性形成 ○グループディスカッション
7・8	4/30(木)	1・2	111	○プロフェッショナルリズムを思考する ○他者の説明を整理する ○未来型共同学習を検討する ○コミュニケーションの実践(関係性の形成) ○グループディスカッションにより考えを深める	前垣 義弘 角南 なおみ	脳神経小児科学 医学教育学	○医師としてのプロフェッショナルリズムを双方向的に学ぶ ○医師に必要な能力を思考する ○適切な自己表出と聴き方を意識する ○他者と関係性を形成する ○グループディスカッションを通して協同の在り方を学ぶ	○プロフェッショナルリズム ○未来型共同学習 ○自己理解と他者理解 ○関係性形成 ○グループディスカッション
9・10	5/7(木)	1・2	111	○授業のコンセプトを理解する ○医師とコミュニケーションを思考する ○未来型共同学習を検討する ○自身の考えを持ち, 他者に表出する ○コミュニケーションの実践(関係性の形成)	角南 なおみ	医学教育学	○今年度の授業の流れを理解する ○コミュニケーション関しこれまでと医師の場合を比較する ○新たな問いに対する解決方法を探求する ○適切な自己表出と聴き方を意識する ○グループディスカッションを通して協同の在り方を学ぶ	○授業のコンセプト ○未来型共同学習 ○自己理解と他者理解 ○関係性形成 ○グループディスカッション
11・12	5/14(木)	1・2	111	○プロフェッショナルリズムを学ぶ ○医師とコミュニケーションを思考する ○正解のない問いを探求する ○自身の考えを持ち, 他者に表出する ○コミュニケーションの実践(関係性の形成)	山本 一博 角南 なおみ	病態情報内科学 医学教育学	○医師としてのプロフェッショナルリズムを双方向的に学ぶ ○医師に必要な能力を思考する ○自身の考えを持ち, 他者に表出する ○適切な自己表出と聴き方を意識する ○グループディスカッションを通して協同の在り方を学ぶ	○プロフェッショナルリズム ○自己理解と他者理解 ○関係性形成 ○グループディスカッション
13・14	5/21(木)	1・2	111	○対人関係の心理学(自己理解と他者理解) ○未来型共同学習を検討する ○自身の考えを持ち, 他者に表出する ○コミュニケーションの実践(関係性の形成) ○グループディスカッションにより考えを深める	角南 なおみ	医学教育学	○自己と他者を理解する方法を心理学を通して学ぶ ○新たな問いに対する解決方法を探求する ○自身の考えを持ち, 他者に表出する ○他者と関係性を形成する ○グループディスカッションを通して協同の在り方を学ぶ	○未来型共同学習 ○自己理解と他者理解 ○関係性形成 ○グループディスカッション
15・16	5/28(木)	1・2	111	同上	角南 なおみ	医学教育学	同上	同上

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
17・18	6/4(木)	1・2	未定	○プロフェッショナルリズムを学ぶ ○医師とコミュニケーションを思考する ○対人関係の心理学(自己理解と他者理解) ○未来型共同学習を実践する ○自身の考えを持ち、他者に表出する ○コミュニケーションの実践(関係性の形成)	杉原 誉明 角南 なおみ	第二内科診療科 医学教育学	○医師としてのプロフェッショナルリズムを双方向的に学ぶ ○医師に必要な能力を思考する ○自己と他者を理解する方法を心理学を通して学ぶ ○自身の考えを持ち、他者に表出する ○適切な自己表出と聴き方を意識する ○グループディスカッションを通して協同の在り方を学ぶ	○プロフェッショナルリズム ○未来型共同学習 ○自己理解と他者理解 ○関係性形成 ○グループディスカッション
19・20	6/11(木)	1・2	未定	○対人関係の心理学(自己理解と他者理解) ○乳幼児の発達 ○コミュニケーションの実践(関係性の形成) ○グループディスカッションにより考えを深める	角南 なおみ	医学教育学	○自己と他者を理解する方法を心理学を通して学ぶ ○乳幼児の発達過程を発達心理学を通して学ぶ ○新たな問いに対する解決方法を探求する ○適切な自己表出と聴き方を意識する ○グループディスカッションを通して協同の在り方を学ぶ	○自己理解と他者理解 ○発達心理学 ○未来型共同学習 ○グループディスカッション
21・22	6/18(木)	1・2	未定	○プロフェッショナルリズムを学ぶ ○医師とコミュニケーションを思考する ○乳幼児の発達 ○未来型共同学習を実践する ○コミュニケーションの実践(関係性の形成)	金城 文 角南 なおみ	環境予防医学 医学教育学	○医師としてのプロフェッショナルリズムを双方向的に学ぶ ○医師に必要な能力を思考する ○乳幼児の発達過程を発達心理学を通して学ぶ ○他者と関係性を形成する ○グループディスカッションを通して協同の在り方を学ぶ	○プロフェッショナルリズム ○未来型共同学習 ○自己理解と他者理解 ○関係性形成 ○グループディスカッション
23・24	6/25(木)	1・2	未定	○発達障害の子どもの特徴と理解 ○未来型共同学習を実践する ○コミュニケーションの実践(関係性の形成) ○グループディスカッションにより考えを深める	角南 なおみ	医学教育学	○発達障害と応用行動分析学について学ぶ ○新たな問いに対する解決方法を探求する ○適切な礼儀やマナーを習得する ○グループディスカッションを通して協同の在り方を学ぶ	○発達心理学 ○未来型共同学習 ○自己理解と他者理解 ○グループディスカッション
25・26	7/2(木)	1・2	未定	○プロフェッショナルリズムを学ぶ ○医師とコミュニケーションを思考する ○未来型共同学習を実践する ○コミュニケーションの実践(関係性の形成) ○グループディスカッションにより考えを深める	植木 賢 角南 なおみ	医学教育学 医学教育学	○医師としてのプロフェッショナルリズムを双方向的に学ぶ ○医師に必要な能力を思考する ○新たな問いに対する解決方法を探求する ○適切な礼儀やマナーを習得する ○グループディスカッションを通して協同の在り方を学ぶ	○プロフェッショナルリズム ○未来型共同学習 ○自己理解と他者理解 ○関係性形成 ○グループディスカッション
27・28	7/9(木)	1・2	未定	○心理学的分野に関する個別のプレゼンテーション ○グループディスカッションにより考えを深める	角南 なおみ	医学教育学	○個別の課題解決学習を体系的に整理し他者に伝える ○適切な自己表出と聴き方を意識する ○適切な礼儀やマナーを習得する ○グループディスカッションを通して協同の在り方を学ぶ	○探求過程の表出 ○関係性形成 ○適切な礼儀やマナー ○グループディスカッション
29・30	7/16(木)	1・2	未定	○心理学的分野に関する個別のプレゼンテーション ○グループディスカッションにより考えを深める ○まとめ ○アンケート	角南 なおみ	医学教育学	同上	同上

教育グランドデザインとの関連: 1、2、4、6

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連: 2、4、6

授業のレベル: 4

評価: 授業態度 30%、レポート 70%

実務経験との関連: 無し

教科書: 配布資料

その他: ①原則無遅刻・全出席が単位認定の基本条件であるため体調管理に十分な注意を払うこと(体調が悪い場合は例外のため連絡してください)。

②シラバス内容は状況に応じて随時変更します。その場合は、manaba等で事前に連絡を行います。

③本授業は遠隔授業のうちレベル3のリアルタイムの双方向的オンライン授業に該当します(授業と課題についてはmanabaで確認してください)。